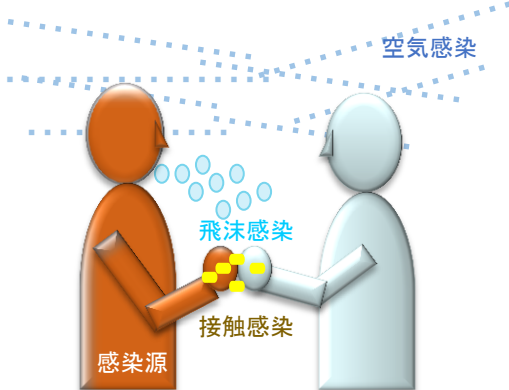




麻しんが全国で散発流行しています。沖縄、愛知、福岡等を中心とした感染拡大がニュースでも伝えられており大きな問題となっています。今回は麻しんについてお伝えします。

## 麻しんとは

麻しんウイルスによっておこるウイルス性疾患です。「はしか」とも呼ばれています。全ての感染経路（空気・飛沫・接触感染）で感染します。空気感染（発症している人と同じ部屋に居るだけでうつる）しうる疾患であることや、極めて感染力が強く免疫獲得していない人が感染者に接触した場合ほぼ100%感染することから、対策は困難です。鼻水やせき、目の結膜の充血、発熱が初発症状となります。3日程度で解熱しますが、発疹が出ると共に再度発熱します。この状態が4日程度継続します。良好な経過をたどると、1週間～10日間で回復します。



問題は合併症が発症者全体の30%というかなり高い頻度で現れるということです。その約半数が肺炎で、頻度は低いものの脳炎の合併例もあり、特にこの二つの合併症は麻しんによる二大死因となります。そのため罹患することはできる限り避けたい疾患です。

2015年3月に日本は麻しん排除状態であるとWHOに認定されています。これ以降の麻しんは、海外旅行者の持ち込みまたは日本人旅行者の持ち帰り等の輸入例であることがわかっています。

## 予防方法

予防方法は麻しんに対する免疫を獲得することです。そのためには、**予防接種（MR（麻しん風しん）ワクチンまたは麻しんワクチン）を2回受け、免疫獲得をしておくことが重要**です。

1976年以前に生まれた人は、接種はしていないが自然感染して免疫を持っている人が多いようです。1991年以降生まれの方は定期接種でワクチンを2回打っている可能性が高いため、同様に免疫獲得している人が多いです。



上記期間のあいだとなる1977年～1990年生まれ（41歳～28歳）の方は、定期接種が1回であったため2回目のワクチンを接種できていない可能性が高いです。1回の接種では免疫獲得が確実ではありません。

母子健康手帳にワクチン接種歴を残しておられることも多いので、2回接種できているかの確認が必要です。もし出来ていないまたは記録がないようであれば、もう1度ワクチン接種を受け免疫獲得をしておくことが予防につながります。



接種歴の確認を！！